

健康的なライフスタイルの確立に関する研究

島 茂¹⁾、簗輪眞澄²⁾

1)富山医科薬科大学保健医学
2)国立公衆衛生院

A. 緒言

CHQ (Child Health Questionnaire) は、SF36を開発したWareらのグループによる、子供のHRQOL (Health-Related Quality of Life) の指標である(文献1)。CHQは個々の子供のHRQOL評価とともに社会的調査にも国際的に広く用いられつつある。子供の生活習慣が及ぼす健康影響を評価するために有力な質問票のひとつである。

このほど、CHQの日本語版作成の準備とならんで富山スタディへの導入可能性を検討したので報告する。

B. 研究方法

CHQの構成

CHQは、子供自身が自分のHRQOLを評価する質問票(87項目)とならんで親がその子供のHRQOLを評価する質問票(98項目、50項目、または28項目)からなる。適用可能な子供の年齢範囲は、最低5歳から最高18歳までに設定されている。各項目に関する標準スコアが現在のところ、米国の一般集団の成績に基づいて作成されている。

質問票への回答に基づいて、第一段階で、14個の尺度(身体機能、身体上の問題による役割制限、一般的健康感、痛み、家族への経済的影響、家族への精神的影響、精神上の問題による役割制限、行動上の問題による役割制限、自尊心、精神的健康、家族の活動性に及ぼす影響、家族との信頼関係、健康の変化)が統合される。第二段階で14の尺度から、さらに、2つの多次元の尺度(身体的健康と精神的健康)に要約される。

翻訳の手順

翻訳プロトコルは、順翻訳、逆翻訳、および試用の3つの手続きからなる。順翻訳は3人の日本語を母国語とする専門的翻訳者による独立の翻訳を3本用意する。3人の翻訳者が3本の順翻訳とオリジナルを比較しながら1本の調停日本語版を作成する。逆翻訳は3人の英語を母国語とする専門的翻訳者による独立の翻訳を3本用意する。3人の逆翻訳者が3本の翻訳とオリジナルを比較して一致しない部分が

あれば、その原因が順翻訳にあるのか逆翻訳にあるのか判定する。前者の場合、調停日本語版を改定する。最後に、性、年齢、地域などが異なる小集団を複数設定して日本語版質問票に回答してもらい、内容が理解されるかどうか、質問票として受け入れられるかどうか調査して最終的な日本語版を作成する。

C. D. 研究結果と考察

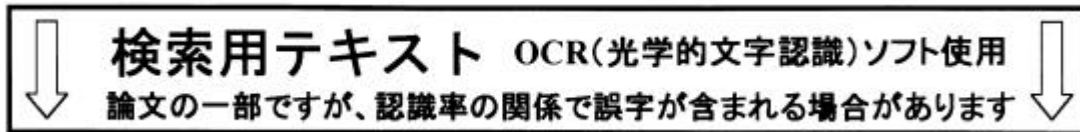
CHQの順翻訳(子供用87項目、親用98項目・50項目・28項目版)を1本作成した。CHQで用いられている言語は口語をベースにしており直訳ではニュアンスが伝わらないと考えられる表現が多かった。従って、翻訳者間での表現の差異が大きいことが予想された。盗み行為の有無をたずねる項目があり、質問票として受け入れられるためにはプライバシーの保護を厳重にする必要があると考えられた。この順翻訳の質問票を、富山県内の小学5年生89名とその親を対象として施行したところ、内容が理解できない項目はとくに指摘を受けなかった。また、盗み行為の有無に関する項目についても他の項目に比べて回答率に変化はなく質問票としての受け入れを一般的には難しくしていなかった。

E. 結論

CHQの日本語版の作成と富山スタディにおける実施は可能と考えられる。

文献

1. Landgraf JM, Abetz L, Ware JE. The CHQ User's Manual. First Edition. Boston, MA: The Health Institute, New England Medical Center, 1996.



A. 緒言

CHQ(ChildHealthQuestionnaire)は、SF36を開発したWareらのゲノレーブによる、子供のHRQOL(Health-RelatedQualityofLife)の指標である(文献1)。CHQは個々の子供のHRQOL評価とともに社会的調査にも国際的に広く用いられてつある。子供の生活習慣が及ぼす健康影響を評価するために有力な質問票のひとつである。

このほど、CHQの日本語版作成の準備とならんで富山スタディへの導入可能性を検討したので報告する。